

群馬大学大学院理工学府物質・環境部門 教員公募

1. 職 名 准教授
2. 募集者名称 国立大学法人群馬大学
3. 所 属 大学院理工学府 物質・環境部門（材料科学プログラム）
4. 業務内容
研 究
・ 各種マテリアルの創製、マテリアル生産工学、塑性加工学、設計工学、AI 加工学、
フィジカル AI に関する先端機能材料科学関連分野の研究

教 育
・ 大学院・学部学生に対する教育・研究指導
・ 担当授業科目
（学部）【専門科目】
物質・環境概論、基礎化学実験、課題発見セミナー、材料力学Ⅰ、材料加工学、
設計製図、設計製図実習、エネルギー材料科学実験、材料科学実験、課題解決セ
ミナー、プロジェクト参加研究 等
【教養科目】担当科目は着任時のカリキュラムに基づき決定

（大学院）金属材料工学特論、先端機能材料科学特論、理工学特別演習、理工学特別実験、
理工学専攻リサーチプロポーザル、国際インターンシップ 等

その他、専門分野に関する教養教育科目を担当
管理運営・社会貢献
・ 理工学府の管理運営に関する業務
・ 理工学府、物質・環境類が進める（社会貢献活動）への参画・協力
5. 勤 務 地 桐生キャンパスまたは太田キャンパス
6. 募集人数 1 名
7. 採用予定日 令和 9 年 10 月 1 日（以降のなるべく早い時期）
8. 専門分野 大分類：ナノテク・材料、ものづくり技術
小分類：薄膜、表面界面物性、加工学、生産工学、金属生産、資源生産
9. 任 期 5 年
任期中に業績評価・審査を行い、適任となった者は任期の定めのない教員として雇用す
る。定年は満 65 歳の年度末とする。
10. 応募資格 次のいずれも満たす者
（１）博士の学位を有する方又はこれに準ずる方
（２）先端機能材料科学分野（マテリアル創製、加工学又は生産工学）における優れた研
究業績を有し、それらの AI 援用およびフィジカル AI 応用を強く推進するとともに、
熱意と意欲を持って学生の教育と研究指導ができる方
（３）社会貢献業務、学府および学部運営業務等に積極的に関われる方
（４）産学官連携、国際交流および地域貢献活動等の各種業務において協調性をもち、
積極的に取り組める方

11. 給 与 年俸制適用 退職手当あり
本学教職員就業規則及び2号年俸制適用教員給与規則に基づき、学歴・職務経験を考慮し基本給を決定
ほか通勤・住居・扶養等の諸手当及び昇給制度あり
教職員就業規則
https://www.gunma-u.ac.jp/kisoku/pdf/chap_02/sec_0220/022010.pdf
2号年俸制適用教員給与規則
https://www.gunma-u.ac.jp/kisoku/pdf/chap_02/sec_0220/022085.pdf
12. 就業時間 8:30～17:15を基本として、専門業務型裁量労働制を適用
(1日7時間45分働いたものとみなす)
13. 試用期間 6か月
14. 休日・休暇 土・日、祝日法に基づく休日、年末年始(12月29日～1月3日)
年次有給休暇、特別休暇等
15. 社会保険等 文部科学省共済組合、厚生年金、雇用保険、労災保険
16. 受動喫煙防止措置の状況 敷地内禁煙(ただし、屋外指定箇所に喫煙場所設置)
17. 応募締切 令和9年1月15日必着
18. 提出書類 (1) 教員個人調書(本学所定様式)
(2) 教育研究業績書(本学所定様式)
(3) 最近10年間の科学研究費補助金等の受給状況(本学所定様式)
(4) 査読つき主要論文10編程度の別刷りまたはコピー
(5) これまでの研究概要(2,000字程度)
(6) 着任後の教育、研究についての抱負(2,000字程度)
(7) 参考意見を伺える方(2名)の氏名と連絡先
(8) 上記書類を一つのPDFファイルとして保存した記録媒体(CD、DVD、USBメモリ)
19. 書類送付先 〒376-8515 群馬県桐生市天神町一丁目5-1
群馬大学 大学院理工学府 物質・環境部門 材料科学プログラム長 莊司 郁夫
簡易書留にて「材料科学プログラム 先端機能材料科学分野准教授応募書類」と朱書きの
うえ、郵送願います。なお、提出書類は原則として返却いたしません。
20. 選考内容 書類選考の上、合格者に対し面接やプレゼンテーションを実施
面接等実施に伴う旅費・宿泊費等の諸経費は応募者負担
21. 問い合わせ先 群馬大学大学院理工学府物質・環境部門 材料科学プログラム
プログラム長 莊司 郁夫
電話:0277-30-1544
e-mail:shohji@gunma-u.ac.jp
22. その他
(1) 応募書類に記載された個人情報、本選考以外の目的には使用しません。
(2) 群馬大学は男女共同参画を推進しており、業績(研究業績、教育業績、社会的貢献等)及び人物の評価において同等と認められた場合には、積極的に女性を採用します。
なお、女性研究者等に対する支援制度については、こちらをご参照ください。

(リンク先 : <https://diversity.gunma-u.ac.jp/support/research/>)

- (3) 若手、外国人若しくは海外経験のある日本人の採用を積極的に行います。